

【理事会報告】

◎支出計画の期間延長

一般財団法人化に伴い、日本英文学会は、平成24～27年度の支出計画を作成し、監督官庁である内閣府に提出しておりましたが、これまでの実績に基づき、計画終了年度を平成28年度に変更する旨を内閣府に申請したところ、申請通り認可を受けました。

◎第88回大会

第88回大会は、2016年5月28日(土)、29日(日)の両日、京都大学吉田キャンパス(京都市左京区)において開催されます。多数の会員のご参加をお待ちしております。また開催校委員、開催支部委員の皆様には大変なご負担をおかけいたしますが、よろしく願い申し上げます。

◎大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第88回大会期間中には、以下のとおり託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：5月28日(土)(12:00～18:00)、

5月29日(日)(9:00～17:00)

場所：京都大学吉田キャンパス吉田南1号館
2階1共22演習室

大会会場に隣接する校舎の教室を臨時託児室とし、次の託児専門業者に委託します。

委託託児業者：(株)アルファコーポレーション
(第87回大会と同じ業者です)

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、本部事務局にて受け付けております。詳しくは学会ホームページに掲載の「全国大会開催期間中の託児室開設規程」をご覧ください。締切は4月8日です。

◎終身会員制度について

2013年度より始まり、すでに55名のお申し込みをいただいております(1月現在)。「終身会員規程」は学会ホームページ「情報公開」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびに、お申し込みは本部事務局にて受け付けております。

◎事務局開室時間

2013年1月より本部事務局事務室の開室時間は以下のとおりになっております。

月曜日～木曜日、11時～16時

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局あてお送りください。なお同事業の応募規程ならびに採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ホームページ「情報公開」の「海外研究者招聘後援事業規程」欄で閲覧できます。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局あてに会員から著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。また著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、次の情報を本部事務局までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

会員の皆様、著書を出された方は、どうぞふ
るってこの著書案内コーナーをご利用くださ
るようお願いいたします。2016年1月現在、18冊
の会員による著書が学会ホームページ「会員著
書案内」欄で紹介されております。ぜひご覧く
ださい。

◎大会準備委員の増員について

大会準備委員会からの申入れに基づき、英語
教育学分野の委員1名の増員を認めました。

【2016年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2016年度シェイクスピア祭を、日本英文学
会・日本シェイクスピア協会主催(慶應義塾大
学文学部共催)にて、下記のとおり開催します。
一般公開(事前予約不要)、入場無料です。ふる
ってご参加ください。

日時：2016年4月23日(土) 13:00～16:30
場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホー
ル

プログラム：

- 13:00～ ご挨拶
- 13:10～ 対談「ふたつの『リア王』」
佐藤 信氏(「座・高円寺」芸術監督)
聞き手：近藤弘幸氏(東京学芸大学)
- 15:00～ 講演
「シェイクスピア劇の小唄
—400年前の艶歌、怨歌、哀歌」
中野春夫氏(学習院大学)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎研究発表応募について

第88回大会の研究発表に応募された方々は、
英文学33名、アメリカ文学10名、英語学6名、
英語教育学1名の総勢50名でした。前年度実績
である36名(英文学21名、アメリカ文学11名、
英語学2名、英語教育学2名)からは、大幅に増
加しました。次回大会もより多くの会員の方々
からご応募いただけますことを期待しております。

なお、過去の大会において、大会当日に発表

タイトルを変更して発表される方や、発表要旨
の校正段階で大幅な修正を試みられる方がいら
っしゃいました。大会準備委員会では、発表タ
イトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づ
いて審査・銓衡を行っております。大会準備委
員会より依頼・要請した場合を除き、応募後の
タイトルの変更はご遠慮いただいております。
発表応募の際には、この点をどうぞご理解いた
だきますよう、お願い申し上げます。

◎招待発表制度

第88回大会では、例年通り大会の活性化を
図るべく、大会準備委員会が過去の実績等を審
査して選んだ招待発表講師8名にも発表をして
いただきます。

◎ハンドアウトのホームページ掲載

学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に、シ
ンポジウムや研究発表の発表者からお送りいた
だいたハンドアウトを掲載いたします。掲載を
希望する発表者は、ハンドアウトのファイルを
大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送り
ください。充実した大会にするために、大会発
表者の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上
げます。

◎紀要等展示室

第88回大会においても「紀要等展示室」を一
般会員控室(吉田南構内・総合館3階・共北33
講義室)に併設いたします。目的は、会員の皆
さまが紀要等を交換する場を設け、会員間の交
流の機会を確保することにあります。展示可能
なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学
会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、およ
び書籍等です。会員の皆さまの積極的なご参加
を歓迎いたします。

展示ご希望の方は、当日、展示物をご準備の
うえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示
ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべ
てご自分の責任においてお願いいたします。展示
物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事
務局および開催校は、いっさいの責任を負えま
せん。また、開催校への展示物の送付は、保管
等の責任を負いかねますのでご遠慮ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

(特別研究発表の(募集)要領)

- (1) 発表時間は1時間
- (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
- (3) 謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)
- (4) 司会は原則として紹介者が行う

(応募の必要書類)

- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト
- (2) 発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次のご提案者にご連絡差しあげます。

◎第89回大会(2017)ワークショップの応募開始

2017年に開催する第89回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第89回大会分の応募締切は、2016年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領をよくお読みのうえ、同ホームページよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

ワークショップはまだ新しい試みですので、より良いかたちを柔軟に模索しながら継続していきたいと考えています。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

◎宿泊予約について

現在、京都市内のホテルは予約が大変、取り

にくい状況になっております。なるべくお早めに宿泊の予約をされることをお勧めいたします。なお、ホテルの予約で困っておられる方は、山科(京都市)、瀬田、大津(滋賀県)、高槻、茨木、枚方、新大阪(大阪府)といった近郊のオプションもあり得ますのでご検討ください。

◎英語教育学分野委員1名増員

英語教育学分野を担当する大会準備委員1名の増員が理事会により認められました。これにより6月からは英文学8名、米文学3名、英語学4名、英語教育学2名の17名で委員会が構成されます。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、25本の英文論文が寄せられ、うち4本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では吉川朗子氏(神戸市外国語大学教授)の'The Lake District through *The Excursion*: The Reception of Wordsworth and Tourism'が選ばれました。吉川氏には賞金5万円が授与されます。

◎第39回新人賞論文募集

4月30日締切で、第39回新人賞論文を募集しております。第34回より佳作にも賞金5万円が授与されるようになりました。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。若々しく野心的な論考を期待しております。応募される方は、上記学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第92巻(和文号)で応募要領をご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって野田学、服部典之、松本朗、貴志雅之、竹本憲昭、大森文子、鳥越郎、鈴木敬了の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、中井亜佐子(一橋大学)、松井優子(青山学院大学)、吉野由利(学習院大学)、大島由起子(福岡大学)、木原善彦(大阪大学)、舌津智之(立教大学)、小塚良孝(愛知教育大学)、田村幸誠(大阪大学)、土橋善仁(新潟大学)の9氏が選ばれました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしくお願いいたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

会費(一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円)を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

◎全国大会の受付業務について

全国大会当日の受付業務は、以下の時間と内容となります。なお、2008年度より、会費の納入の取り扱いを廃止しております。さまざまなトラブルを未然に防ぎ、会員の皆さまに大会

プログラムに専念していただくための方策ですので、ご理解のほどをお願い申し上げます。

※受付時間：5月28日(土) 12:00～16:00

5月29日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費1,000円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます(ただし懇親会は、余裕がある場合に限り参加可能です)。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書があれば、当該年度会費から1,000円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。すでにご希望を頂いている会員の方は、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎大会懇親会の予約方法について

第86回大会より、懇親会の予約を学会ホームページからの受付に統一しております。詳しくは、本大会資料掲載の「第88回大会懇親会のご案内」をご覧ください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ホームページにて詳しくお知らせしておりますが、あらためて下記にご案内いたします。

《新規入会の手続き》

新規にご入会いただく場合には、本部事務局

へご連絡ください。(1)ウェブ入会フォームの利用、(2)電子メールによるお申し込み、(3)ファックスや郵送によるお申し込みの3つの方法があります。

- 1) ウェブ入会フォーム：学会ホームページ上のウェブ入会フォームのページから必要事項を記入のうえ、お申し込み内容を送信してください。
- 2) 電子メールによるお申し込み：学会ホームページ上の電子メールによる入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。
- 3) ファックスや郵送によるお申し込み：学会ホームページ上のファックスや郵送による入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。

お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会届》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。(逆にいえば、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。)資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブ連絡フォームやメール等で事務局までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみ

を退会することはできません。詳細は学会ホームページ「退会の届け出」欄をご覧ください。

◎学生会員の皆さまへ

学生会員の皆さまには事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) 郵便局自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2016年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2016年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイル、あるいはファックスにて、本部事務局あてお送りください。確認のうえ、2016年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(郵便貯金残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に何らかの変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などには、事務局までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏休み中の事務連絡について

本部事務局は、7月28日より8月31日まで基本的に夏休みとさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、郵便、ファックス、電子メールにて受け付けておりますが、ご回答までに日数がかかることもあります。予めご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2016年9月中旬刊行予定の『支部大会資料統合版』の巻末に掲載さ

れる予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ホームページにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2016年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務に当たります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長 諏訪部浩一(東京大学)異動
事務局長補佐 山口和彦(東京学芸大学)
会計補佐 生駒夏美(国際基督教大学)留任
編集担当書記 若林麻希子(青山学院大学)
大会準備書記 横越 梓(名古屋工業大学)
学会ウェブ担当 渡部智也(福岡大学)留任

新事務局は佐々木会長のもと、英文学会が会員の皆さまの優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

金澤 哲・諏訪部浩一・生駒夏美・
合田典世・小島基洋・渡部智也